



## 『第19回西日本薩摩郷句大会』

大崎町は、スポーツが盛んなところで、県内でも一目置かれる存在ですが、今回、文化的な面でも脚光を浴びました。

9月2日(日)、鹿児島市の宝山ホールで開催された「第19回西日本薩摩郷句大会」において、大崎郷句会の諸木小春(春子)さんが、14句中13句入選し、総合優勝の栄冠に輝きました。また、兼題「モデル」の部では「初孫をモデルい爺婆撮いまくっ」と詠み、特選を受賞され、大崎の名を県下にとどろかせました。

現在、大崎郷句会は7人で活動。毎月第2火曜日に集まり、郷句を楽しんでいらっしやいます。

大崎郷句会会長の諸木小春(春子)さんは「もっとたくさんの人に郷句の楽しさに触れてほしい。興味のある方は、ぜひ門を叩いてください」と話してくださいました。

取材に行ったその日、玄関の前に立ち、インターホンを鳴らそうか、鳴らさまいかとする指を、中から聞こえてくる笑い声が後押ししたことを、郷句会の方々は知らない。



## 『第4回菱田分館秋祭りが開催』

10月7日(日)、今年で4回目となる菱田分館秋祭りが、菱田環境改善センターで開催されました。

あいにくの雨の中でしたが、楽しみにしていた秋祭りということもあって、会場となった菱田環境改善センター内は見物客で溢れ、熱気が漂っていました。

オープニングを務めたのは、青年団と高校生クラブ合同による太鼓演奏。迫力ある太鼓の音は、雨が降っているのを忘れさせるように、会場の外まで響き渡りました。



## 『シルバー人材センターが 清掃ボランティアを実施』

10月15日の「県下シルバーの日」に先駆けて、10月13日(土)、白砂青松100選に選ばれている益丸海岸を、シルバー人材センターの会員約150人が、清掃ボランティアを実施してくださいました。

麦わら帽子に軍手姿の会員は、海岸に打ち上げられた木切れや竹を拾い集め、燃やし、ペットボトルや空き缶などは、分別して回収しました。参加した会員の中で最高齢の松田ウルさん(86歳)は「皆さんと一緒に活動をする、楽しく疲れも忘れ、元気の源になっています」と笑顔で話してくださいました。

